Oops! English｜Webサイト企画・要件定義書

デイトラチャレンジ 第6回



間違えるって、楽しい。

始めやすく、通いやすく、続けやすい英会話教室。

駅前の接点を、無料体験への一歩につなぐ。

01. 制作概要

デイトラチャレンジ 第6回：AIを活用した、架空の駅前英会話教室の1ページWebサイト制作。

クライアントの課題

体験レッスンの申し込みがなかなか来ない。

制作目的・ゴール

駅前の看板や地域検索などからスマートフォンで訪れる社会人に、教室の魅力を短時間で伝え、無料体験の申し込みを後押しする。

02. 教室の基本設定

項目	設定内容
教室名	Oops! English（ウップス！イングリッシュ）
サービス	大人の初心者専門の英会話教室
レッスン	外国人講師／最大4名／1回50分／日本語サポートあり
立地	東急池上線 池上駅から徒歩2分 ※架空の教室設定
営業時間	火〜金 13:00〜21:00／土・日 10:00〜18:00 定休日：月曜日
無料体験	約50分（ヒアリング・体験・相談を含む） 持ち物不要・入会義務なし・無理な勧誘なし

生活スタイルに合わせて選べる**3**つの料金プラン

プラン	回数	月謝（税込）
ライト	月2回	6,600円
スタンダード（おすすめ）	月4回	11,000円
アクティブ	月8回	19,800円

入会金5,500円（税込）。教材費は月謝に含む。

03. ターゲット・ペルソナ

英語に苦手意識のある**30**〜**40**代の社会人

自宅・職場・通勤経路の近くで、新しいことを始めたい人を想定。

佐藤美咲さん｜**35**歳・事務職・都内在住（架空のペルソナ）

平日9〜18時勤務。趣味は旅行・カフェ巡り・映画。旅先では翻訳アプリに頼りがち。学習アプリは続かず、仕事帰りに通える教室を探している。

04. 課題解決の方針

申し込みをためらう理由を仮説として整理し、サイト上の情報と導線で解消する。

想定する課題・心理的障壁	サイト上の解決策
教室を知らない・接点がない	駅前看板・QRコード・地域検索からの訪問を想定
英語が苦手。間違えるのが恥ずかしい	初心者専門・日本語サポートを明示
先生やレッスンの雰囲気が分からない	講師写真・プロフィール・身近なレッスンテーマを紹介
仕事と両立できるか、費用が心配	駅近・夜間営業・回数別の料金プランを提示
体験後の入会や準備が負担	無料・持ち物不要・入会義務なしを予約前に案内
申し込みが面倒そう	日時候補から選べる、簡単な2ステップフォーム

認知から申し込みまでの想定導線

駅前看板・地域検索 → 興味・安心 → 条件の確認 → 無料体験予約

課題・流入経路・心理変化は企画上の仮説です。実測データや改善率を示すものではありません。看板制作や集客施策の実行は今回の制作範囲に含みません。

05. ブランド・デザインコンセプト

「間違えた」を、会話の始まりに。

失敗したときの一言「Oops!」を、親しみやすい教室名に。「間違えるって、楽しい。」というコピーで、英語への苦手意識をやわらげる。

大人向けのレトロポップ

色・文字・写真の配置で遊び心を表現。子どもっぽくせず、海外のライフスタイル誌のような親しみやすさを目指す。

用途	カラー
メイン	ブルー #3155D9
アクセント	オレンジ #FF7945
ハイライト	イエロー #FFDF64
背景	クリーム #FFF8EA

文字	チャコール #252525

写真・文字・レイアウトの工夫

- 自然な笑顔のレッスン写真と、大きな講師写真で教室の雰囲気を伝える。
- 見出しと数字を大胆に強調し、初心者専門・駅近・少人数などの要点を見つけやすくする。
- 写真の重なりと左右非対称の配置で変化をつけ、装飾を増やしすぎない。

前半は「動」	後半は「静」
FV・教室紹介・講師紹介	料金・FAQ・予約
大きな文字、写真の重なり、色面で、会話の楽しさを伝える。	整った情報配置と控えめな装飾で、比較・確認・入力に集中できるようにする。

06. サイト構成・情報設計

「自分に合う教室か」から「体験してみたい」へ。魅力 → 安心材料 → 条件の確認 → 行動の順に、必要な情報を届ける。

順番・セクション	役割・この順番で掲載する意図
01｜ファーストビュー	初心者向けの教室であることと、駅近・少人数・夜間営業を最初に伝える。
02｜教室について	対象・特徴を説明し、「ここなら自分も通えそう」という安心感につなげる。
03｜講師・レッスン紹介	講師の人柄と身近なテーマを一緒に見せ、レッスンを具体的に想像できるようにする。
04｜料金プラン	月2・4・8回の選択肢を提示し、生活スタイルと費用を照らし合わせられるようにする。
05｜よくある質問	初心者の不安や、参加・日時・持ち物・入会に関する疑問を解消する。
06｜アクセス	駅からの近さと営業時間を確認し、日常の中で通えることをイメージしてもらう。
07｜無料体験レッスン	当日の流れと条件を示したうえで、その場で予約日時を選べるようにする。

必要な場所へ、すぐに移動できる

ヘッダーのナビゲーションで「教室・講師・料金・アクセス」へ。無料体験のCTAはファーストビュー・料金・ヘッダー・スマートフォン追従部分に配置し、予約フォームへつなぐ。

FAQとアクセスは独立させて探しやすくし、無料体験の流れとフォームは同じセクションにまとめて、申し込み直前の移動を減らす。

07. 制作のポイント

楽しそう、だけで終わらせず、申し込みやすさまで設計する。

苦手意識を責めず、「自分向け」と伝える

初心者専門・日本語サポートを明示。難しい学習成果よりも、身近な会話を楽しむイメージで最初の一歩を後押しする。

写真で教室の空気と講師の人柄を見せる

笑顔のレッスン風景と大きな講師写真を使用。プロフィールと合わせて、どんな人と何を話すのかが伝わるようにする。

迷いを減らす、日時選択からのフォーム

おすすめ日時を選ぶか、別の日付・時間を指定してから名前とメールを入力。先に参加できる日を見つけ、入力の負担を抑える。

スマートフォンで読む・押す・入力する

短い見出しと数字の強調で要点を伝える。追従CTAで予約へ移動しやすくし、フォーム表示中は隠して入力を邪魔しない。

無料体験への導線

日程を選ぶ（候補または個別指定）→ 情報を入力（名前・メール）→ 申し込み完了（デモ）

本サイトは架空の教室の制作課題です。フォームはデモで、実際の予約・情報送信は行いません。